

▼疲労で寝たきり、長期的な苦痛、周囲の無理解で社会復帰困難な人も ▼帯状疱疹、がんと遺伝子ワクチンの影響

国民の8割が既に打った新型コロナワクチンとは一体、何なのか。それを解明する記事は、大反響を呼んでいる。今号ではコロナワクチンは薬害問題だと叫ぶ後遺症患者たちの実態と、「遺伝子ワクチン」が関係していると考えられる病について深く。



打ち終わり、看護師も少しずつ接種を開始していた。体の異変は、ファイザー社製ワクチンを接種した直後に起こった。「ワクチンを打って5秒ほどで、血の気がサーッと引いて倒れました。両手両足が痺れて、起き上がれない。その後は血圧が急上昇してドッキン、ドッキンという激しい心臓音になった。もう心臓が爆発するんじゃないか、と感じたほどでした」すぐに、救護室に運ばれた。その時点では最高血圧190mmHg、最低血圧113mmHgという異常値を示していた。その日は同僚に車で送ってもらい、何とか自宅に帰った。しかし、それから1カ月半の間に5回も突然、同じように血圧が急上昇する発作のような症状に見舞われ、救急車で運ばれることもあった。疲労感

が強く、ほとんど寝たきりになった。「信じられないほどの疲労感で体を支えられず、椅子に座ることもできませんでした。1日に25回以上の頻尿にも襲われましたが、トイレのすぐ横の部屋に寝ているのにトイレが本場に遠かった。もう5秒も立ってられないんです。食事も少しだけ首を持ち上げてひと口食べたら、またバタッと寝るような感じでした」

脳にも症状が表れた。頭の中がもやもやして物事を集中して考えることができず、人との会話もままならない日々が続いた。「まるで脳がショートしたみたいな感じでした。そのため、人と論理立った会話ができない。当時はテレビも携帯電話もあまりに光が眩しく、見るのができませんでした。これからどうなるのかと不安でいっぱいでした」立花さんは離婚後、女手一つで長男と長女を育ててきた。看護師として必死に働き続け、子どもが独立した今、ようやくひと息つけると思っていた矢先だった。最近では少し症状は改善しているもののまだ仕事には復帰できず、依然、体調を見ながらの生活が続く。

ファイザー社製コロナワクチンは死亡者や重症者が極端に多い製造ロット番号があり、厚生省のHPに公開されている。立花さんの打ったロット番号はFA5765と死亡報告数は45人と非常に多く、重篤者も150人上っている。

活発な高校生が突然、体調不良に襲われたケースもある。小島咲香さん(仮名)は22年8月30日、16歳の時に3回目のファイザー社製ワクチンを接種した。それから10日後、握力が極端に弱り、ペンや箸が握れなく

見過ごされる 新型コロナの ワクチンの 後遺症

緊急検証③ 接種後死亡 「2000人超」を どう考えるか!

反響続々

新型コロナワクチン接種による重篤な後遺症を抱える人たちがいる。厚生労働省の副反応検討部会の公表資料によると、コロナワクチン接種後に死亡したと報告があった数は2059件(4月28日現在)。それに加えて、重篤な後遺症を持つ人の中には、いまだに社会復帰できないケースも多い。

立花美紀さん(仮名・50代)もその一人だ。立花さんは地方都市にあるコロナワクチン大規模接種会場で、看護師として働いていた。2021年6月12日、「ワクチンが余ったから打ちますか」と、そう聞かれた。すでに医師たちは1回目を

なる。やがて全身の筋肉が思うように動かせなくなり、階段も手すりにつかまりながらやっと上れる状態だった。顔面筋の筋力低下により、まぶたも開けられない。朝起きて食事をしない。だけで体力を使い果たし、学校を休む日が続いた。その当時の様子を、母の俊美さん(仮名)はこう語る。「1カ月ほど学校を休んだ

あと、『このままでは出席日数や単位が足りなくなるので、進級できない。なんとか来られませんか』と聞かれたんです。『無理です』と答えると、『それなら別の学校に行ってもらおうことになる』と言われました。1時間でも授業を受けると欠席ではなく出席扱いになるというので、仕方なくタクシーで学校へ行きました」

ワクチン後遺症は薬害問題

ワクチン後遺症が広く世間に知られていないことから、周囲の無理解に苦しんでいる。後遺症の認知が進んでいないのは学校だけでなく、医師もまた同様だった。腱反射や筋肉の神経伝達の検査、血液検査などをしたが、異常が見つからない。病院の握力検査で手に力が入らない咲香さんに、医師は「本気でやって」と何度も声を荒らげたうえに異常なしと

突き放し、また別の医師は、病院で動けず寝ている目の前で「精神的な問題だから心療内科に行ったほうがいい」との言葉を投げつけた。複数の病院を渡り歩いたあと診てもらった大病院の医師から、「血液検査の結果をよく見ると、副腎皮質から分泌されるホルモンのコルチゾールの値が低い」との指摘があった。診断結果は副腎不全。それにより全

身倦怠感や脱力感、筋力低下が起きていると言われた。「処方された薬を飲んでいる間は大丈夫なんですけれど、家に帰って安心したり、薬が切れた瞬間にドツとしんどさが戻ってきます」と、咲香さんは話した。母の俊美さんがこう続ける。「高校3年に進級した今は、学校側も病気に配慮してくれるようになりました。娘は小麦アレルギーがありましたが、それさえ食べられるのを避ければ症状が出ることもなく本当に元気で、高校では応援団に入り、ダンスもしたりと活発な子だったんです。ワクチン接種以外に原因が思い当たりません」

コロナワクチン後遺症患者を診てきた兵庫県尼崎市の長尾クリニック・長尾和宏名誉院長は語る。「ファイザー社の資料によると、動物実験ではワクチンは肝臓、脾臓、副腎、卵巣に集積するとあります。咲香さんの場合は副腎ですから、コロナワクチンによる健康被害と考えられます。私はこれまで多くの新型コロナに感染した患者さんとワクチン後遺症の患者さんを診てきました。新型コロナ感染による後遺症は広く知られていますが、それよりもワクチン後遺症のほうがずっと症状が重く、回復しづらい。症状はより深刻です」

見過ごされる新型コロナワクチンの後遺症

え続けている事実がわかる。前号で本誌が報じた通り、コロナワクチンを打ったあとの効果は大人では3カ月ほどではないかと考えられている。では、そうであれば生涯、打ち続けるのか。むしろ現在は、コロナワクチンを打つことにより自然免疫が下がったり、免疫システムが混乱するのではないかという指摘する医学界の専門家も多い。それにより起きると考えられる病気のひとつが帯状疱疹だ。子どもの頃に水痘瘡にかかった人は水痘・帯状疱疹ウイルスが神経節に潜伏しているため、感染細胞を殺す細胞の力や数が低下すると、発症の可能性がある。医療ジャーナリストの鳥集徹氏は話す。「海外では帯状疱疹が増えているという報告がいくつかあります。グローバルな医療データベースを用いてワクチン接種群と非接種群それぞれ約100万人を比較し

たコホート研究でも、接種群は非接種群に比べて帯状疱疹発症リスクが1.8倍高いとの結果が出ています。また大阪肛門科診療所の佐々木みのり医師は一般のコロナワクチン接種が始まって約半年後の21年9月ごろから、肛門の帯状疱疹が増えたと、驚きを隠さない。「肛門の帯状疱疹は、もし患者がいたら研究対象になるほど稀です。著しく免疫が下がっているの、悪性腫瘍の疑いも含めて全身検査する必要があります。私もこれまで1例しか患者さんを診たことがありませんでした。でもワクチンを接種してから1カ月以内に肛門帯状疱疹を発症したという患者さんをこの2年半ほどで10人診ました。肛門が化膿する人も今までは年に数例ほどでしたが、現在は1週間に1人はいます。はっきりいって異常事態です」

タンパク自体が毒性を持つことだ。厚生省も認める心筋炎や脳梗塞などのコロナワクチンの副反応は、その

「私親しい人は、たった2カ月間で肝臓がんが急激に進行し、あつという間に亡くなりました。彼は突然の体調不良を訴えて『ワクチンの後遺症ではないか』と診察に来たのです。それで検査をした結果、末期の肝臓がんだと判明した。他

「20年後になるだろう。しかし実際に患者が増えてきているという臨床現場の医師たちの声は事実であり、それをなかつたことにはできない。このような細胞のがん化は、体の免疫低下によりがん細胞が攻撃を免れること、またコロナワクチンが「遺伝子ワクチン」であることが原因になると考えられる。「遺伝子ワクチンがこれまでなぜ広く認可されなかつたかといえば、細胞の核内のゲノムDNAに組み込まれることがあるからです。今回のmRNAワクチンは製法上DNAの微小断片が混入しますが、どの程度のリスクがあるかもきちんと議論されていません」(前出・宮沢氏)

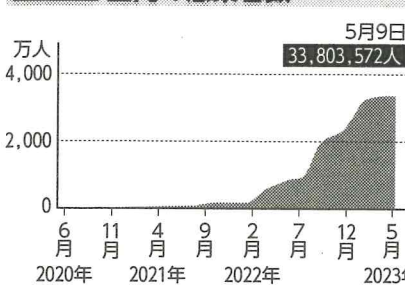
※4 雑誌プラットフォーム Frontiers in Medicine のサイトより。参考:『コロナワクチンが危険な理由 免疫学者の警告』(花伝社) 荒川央

グラフ① 世界のワクチン接種回数 (100人あたり)

| | |
|----------|--------|
| 日本 | 309.59 |
| ベトナム | 271.23 |
| 韓国 | 250.21 |
| イタリア | 244.88 |
| 中国 | 244.84 |
| ドイツ | 230.56 |
| フランス | 227.78 |
| ブラジル | 225.92 |
| イギリス | 224.04 |
| バングラディシュ | 209.45 |
| アメリカ | 203.83 |
| タイ | 198.94 |
| トルコ | 178.75 |
| イラン | 175.46 |
| メキシコ | 175.02 |
| インドネシア | 161.27 |
| インド | 155.71 |
| フィリピン | 147.71 |
| パキスタン | 143.67 |
| ロシア | 129.01 |

Our World in Dataより

グラフ② 国内の感染者数 (累計)



厚生労働省まとめ 5月9日までの情報を表示

であるとか広く社会に提起していきたくて考えています。コロナワクチン接種後の後遺症はなぜ起こるのか。「コロナ後遺症・ワクチン後遺症外来」を設けている東京の蒲田よしのクリニック・吉野真人院長は話す。「基礎疾患のある人、アレルギー傾向のある人、鉄欠乏など栄養バランスの乱れている人、また腸内環境がよくない、栄養と代謝の関係がスムーズにいかない人も後遺症が出やすいです。心身にわたる健康の個人差が、ここで明らかになりやすい。世代としては、更年期障害に悩む40〜50代の女

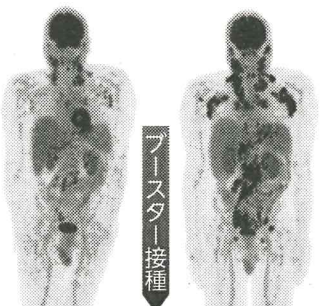
性が多くなっています。さらに前号の本誌でも紹介したように、後遺症の理由の一つとなるのが、コロナワクチンに含まれるスパイクタンパクの存在だ。ファイザーやモデルナのコロナワクチンは人間に初めて本格的に投与される「遺伝子ワクチン」であり、コロナウイルスの一部であるスパイクタンパクを人間の体内で作るための遺伝情報mRNA(※1)が成分として入っている。そのスパイクタンパクを体の免疫細胞が取り込むことで抗体などの免疫が誘導されるとしているが、問題なのはスパイク

タンパク自体が毒性を持つことだ。厚生省も認める心筋炎や脳梗塞などのコロナワクチンの副反応は、その

稀な肛門の帯状疱疹が増加

さらにコロナワクチンの接種が、むしろ新型コロナへの感染を高めていると考えられるとも指摘する。「体内に入った新型コロナウイルスの病原性を失わせる作用をもつ抗体を、中和抗体と言います。新型コロナウイルスのスパイクタンパクにその中和抗体が結合

※1 mRNAはタンパク質を作るために必要な遺伝情報のコピーを作成する。遺伝情報はDNA→転写→mRNA→翻訳→タンパク質の順に伝達される。タンパク質を必要とする細胞に伝達するために本来、mRNAは作られた数分間で分解されていく。しかしコロナウイルスのmRNAは非常に長く体内にとどまる可能性が指摘されている



9/8 → 9/22 → 9/30
22日間で劇的にがんが進行

大反響!

コロナワクチン後遺症
次なるパンデミックに備えよ

サタデー朝日

創刊101周年

大正11年3月31日第三種郵便物認可
2023年6月18日発行
第102巻第25号 通巻5784号
毎週火曜日発行(6月6日発売)

定価550円

2023年6月18日号

西畑大吾
(なにわ男子)
巻頭グラビア&
インタビュー7P

『週刊朝日』休刊に捧げる〈後編〉

梅雨ダル解消法

田原総一郎が
立憲民主代表と大激論

猿之助ショックと
澤瀉屋のこれから

森永卓郎が指南する

増税ビンボーから 脱出する家計再建術